



## 完全保存版「自然素材住宅塾」



今の住まいと将来の住まいに役立つ情報満載

こんにちは。駿河屋の九代目当主一樹です。

GWも終わり、これからじめじめの梅雨がやってきますが、山は今、一番いい季節です。新緑が芽吹き、雪解け水が流れ、植物や動物が目覚めます。生命の営みに溢れた空気を全身で感じる事が出来ます。そんな自然の山で育った木は、<sup>なら</sup>榿や栗の木のように、広葉樹と言われる天然木です。

今日はそんなお話し。

それでは、今月子育てママにお役にたてる、おうちの中で大切なこと、発信します！

### 【日本の森で育った広葉樹】

皆さん、<sup>しんようじゆ</sup>針葉樹と<sup>こうようじゆ</sup>広葉樹ってご存じですか？葉っぱをイメージして頂ければわかりやすいですが、<sup>ひのき</sup>針葉樹は杉や檜など、葉っぱが細い木です。反対に<sup>なら</sup>広葉樹は栗や榿や桜など、葉っぱが開いている木です。

針葉樹は比較的やわらかく暖かい、広葉樹は硬いイメージです。使い分けはどのようにするかというと、柔らかい足触り、温かさがお好みの場合には針葉樹系、ペットのワンちゃんがいったり、四つ足の椅子などの生活の場合には、キズがつきにくいように針葉樹より硬い、広葉樹のフローリングを選んだりします。

僕は今まで広葉樹の場合には北海道の旭川のものを提供していました。これも、機械で乾燥するのではなく、数年かけて自然に乾燥させる“天然乾燥”にこだわってました。やはり市場にほとんどを占める機械乾燥の木よりも、“天然乾燥！”の木は断然香りや艶が違います。

ところが、旭川の会社さんが、もう広葉樹の木を伐るのを辞めるといふのです。やはり林業は商いにしないと・・・。なんだか寂しいですね。

良い物を正しい提供して、商いが成り立つ世の中にしたい、特に林業に関わる方を応援しておりますが当社の需要だけでは、どうにもなりません。そこで、広葉樹を天然乾燥しているところを全国歩いて探したのですが、なかなか見つからない・・・。やっと見つけても、納得出来る品質じゃない、品質管理までは見せてくれない等々・・・。

それでも、やっと南会津でしっかりとした品質の木を出して下さるところを見つけました！良いものを正しく創っている生産者の方々は表情がとってもイイ！光ってるというか、自信に溢れているというか・・・とっても魅力的なんです。

荻窪とか吉祥寺とかの、とある老舗フルーツパーラーが大繁盛していて、TVで取材されたんです。その模様を僕がTVで見ました。

レポーターが「美味しいフルーツを見分ける方法はなんですか!？」とオーナーのおじいちゃんに聞いたんですよ。

「スイカは叩いて、ぼんぼんと美味しいよ、美味しいよ食べとくれ、食べとくれ、という音がするんじゃ」みたいな答えを期待しますよね?・・・ちがうんです・・・。

「実際に市場で作っているヤツの顔を見るんだ。美味しい物をつくるヤツは顔を見ればわかる」

こだわりの素材を全国歩いて探している僕は「やっぱりそうだよな〜!」と感動したのを思い出しました。

ちょっと横道にそれましたが、そこで見つけたのが南会津の製材所だったんです。その社長や専務や製材担当の方やみんな素敵な方でした。品質の管理状況も、非常に丁寧に見せて下さいました。

「広葉樹の天然の森なんて伐採してしまっているの!」なんて声も聞こえて来そうですが、最盛期の1/100以下の伐採量だそうです。

また、植林した針葉樹のように、バリカンで丸裸の山にするわけではなく、自然林の良い木を見つけて、一本一本切るので、間引きみたいなものなんです。そうすると、森に新たに光りがあたり、他の木が大きくまた育つんですね、

南会津にまだ雪の残る春。何年も前に山の仲間とブナの新緑が瞬きごとに芽吹いて美しい山があるき、あまりの美しさにそこに泊まってしまったことがあります。山が一番魅力的な季節、是非でかけてみてください。

家づくりをきっかけに「体と心がよろこぶ暮らし」を考える

創業 1657年 株式会社駿河屋 〒131-0033 東京都墨田区向島 1-24-16

TEL03-5637-1179 <http://www.surugaya-life.jp>

